

2014年2月10日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

**慶應義塾大学 SFC 研究所とセイコーエプソン株式会社の共同開発による製品化
ゴルフスイング診断用のモーションセンサ M-Tracer
-小型センサーをグリップに取りつけるだけで自分のスイングがわかる-**

慶應義塾大学 SFC 研究所スポーツ・ダイナミクス・インフォマティクスラボとセイコーエプソン株式会社は、ゴルフスイング診断用のモーションセンサ「M-Tracer」を共同研究によって開発、2014年4月10日から発売が開始されることになりました。

見えない力を可視化する新たなツールとして、「M-Tracer」により得られた科学的知見にもとづいたトレーニング・コーチングを提供することが可能になります。最新の科学技術・情報技術によるスポーツデータの計測・分析手法を活用した新しいツールをぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

1. モーションセンサ「M-Tracer」開発の背景について

「M-Tracer」は、セイコーエプソン社が培ってきた QMEMS 技術による世界最高性能のモーションセンサユニットであり、3軸加速度センサ・3軸ジャイロセンサを搭載して手首とゴルフシャフトに装着する事で、ゴルフヘッドの軌跡や姿勢を知る事に加えて、ゴルファーがクラブにどのような力をどのようなタイミングで加えたのか、伝わったエネルギーはどの程度か、といった見えない力を可視化する新たなツールです。今後ゴルフ指導の場で活躍する事が期待されています。

2. モーションセンサ「M-Tracer」の特徴

・小型センサーをグリップに取りつけるだけで自分のスイングがわかる

小型センサーをグリップに取り付けてスイングするだけ。エプソンならではの高性能センサと学術的な理論に裏付けられた解析技術で、バックスイングからダウンスイングまで、スイングの全容を詳細に解明します。

・スマホですぐに結果確認

ビジュアル表示でわかりやすい測定データを即座に解析し、スマートフォンにビジュアル表示。5つの解析画面でスイングを様々な角度から分析し、改善ポイントを導き出します。

・手打ち解消のキーワード 「ナチュラルアンコック」

M-Tracer For Golf に搭載された二重振り子モデルの最も重要なポイント「ナチュラルアンコック」をチェックし、より遠くに飛ばせるスイング習得へと導きます。

http://www.epson.jp/products/msensor/mt500g/feature_1.htm

3. スポーツ・ダイナミクス・インフォマティクスラボについて

近年、スポーツにおけるデータの役割は益々重要視され、選手プロフィールをはじめ、トレーニング履歴や競技会における競技記録は日々蓄積され、コーチングや戦略づくりに活用されています。動きの定量化にもとづくバイオメカニクスのデータや、コンディショニングに関連する医学・生理学的データにおいても同様です。

本ラボでは、これらのスポーツデータを数理科学や情報技術を用いることにより、計測・分析手法および、スポーツデータの蓄積・可視化手法の開発を行っています。さらに競技スポーツのみならず、子供から高齢者、障害者を含めた市民スポーツまで幅広く、得られた科学的知見にもとづいたトレーニング・コーチングを提供し、スポーツの魅力を広めることを目指しています。

<本事業担当教員>

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 准教授 仰木裕嗣

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授 太田憲

<お問合せ先>

慶應義塾大学 湘南藤沢研究支援センター

電話：0466-49-3436 E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp

セイコーエプソン株式会社 センシングシステム事業部

電話：0266-61-2044